

2016年度 聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 議事録要旨

日時: 2016年7月19日(火) 18:02 ~18:54

場所: 聖路加国際大学 1階 大会議室

議長: 萱間 真美(委員長)

出席委員: 萱間真美、鶴若麻理、菱沼典子、片岡弥恵子、小野若菜子、小林京子、宮坂勝之、松井 陽、墨岡 亮、神里彩子

欠席委員: 小松康宏、中村めぐみ、児玉 安司、鐘ヶ江真知恵、
(出席者 10人をもって、委員会の成立)

1. 審議事項:新規申請(本審査) 、司会:委員長 萱間真美

① 麓 杏奈(助産学 博士後期課程2年)

「就業助産師の心的外傷体験尺度の開発 —信頼性・妥当性の検討—」

研究責任者(麓 杏奈氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

② 桑原 良子 (老年看護学 助教)

「地域在住高齢者とその家族を対象としたライフレビュー実践と混合研究法による評価」

研究責任者(桑原 良子氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

2. 審議事項:継続審査について 司会:委員長 萱間 真美

① 審査番号 15-030:池口 佳子 (がん看護学・緩和ケア 助教)

「実習において生体腎移植患者の語りを聴いた看護学生の体験」

② 審査番号 15-031:鶴若 麻理(その他 准教授)

「ハンセン病回復者のアドバンスケアプランニング(終末期医療に望むケアを事前に考えるプロセス)の研究」

③ 審査番号 15-067:大久保 暢子(看護技術学 准教授)

「日本独自の香りを用いた芳香浴による成人女性のストレス反応緩和の効果 —ゆず、さくらを用いた実験研究—」

④ 審査番号 15-070:嶋津 多恵子(公衆衛生看護学 博士後期課程3年)

「行政におけるプリセプター保健師の経験学習と先行要因・専門職としての成長との関連」

⑤ 審査番号 15-073:吉田 千文(看護管理学 教授)

「地域包括的視点に基づく看護管理方法論の探究」

⑥ 審査番号 15-078:五十嵐 ゆかり(助産学 准教授)

「産科救急シミュレーショントレーニングプログラムの開発」

- ⑦ 審査番号 15-082:倉岡 有美子(看護管理学 助教)
「就任初期の看護師長の経験学習促進プログラムの開発と評価」
- ⑧ 審査番号 15-083:中田 かおり(助産学 博士後期課程1年)
「仕事と母乳育児を両立するための働く女性の知恵と工夫に関する研究」
- ⑨ 審査番号 15-A055:関根 由紀(基礎看護学 博士後期課程3年)
「急性心不全患者における初回立位保持に関連する要因の探索」
- ⑩ 審査番号 15-030:池口 佳子(がん看護学・緩和ケア 助教)
「看護基礎教育においてラーニング・アシスタントを行った学生の体験」
- ⑪ 審査番号 15-A090:加藤木 真史(看護技術学 助教)
「生活行動の視点に基づく消化管術後患者の離床を促進する看護モデルの開発」

事務局より、実施状況について説明が行われた。

委員から異議はあがらず、審議参加者全員一致により、承認となった。

3. 報告事項:新規申請の承認

迅速審査及び書類審査該当の新規申請研究について、下記の通り報告された。

整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
16-A005	終末期がん患者の療養場所選択に関する意思決定の関連要因と遺族が抱く後悔との関係	がん看護学・緩和ケア	修士課程 2年	沖村 愛子
16-A010	「シェアード・ディジョン・メイキングに基づく日本の臨床試験説明文書の評価と、臨床試験関係者から見た意思決定プロセスの現状」 The evaluation of the Informed Consent Forms for Japanese clinical trials Based on Shared Decision Making , and the Present Conditions of Decision Making Process from Stakeholder's View .	看護情報学	修士課程 2年	藤田 美保
16-A011	リスク情報の提供におけるグラフィックの効果とヘルスリテラシーとの関連	看護情報学	修士課程 2年	鈴木 ひとみ
16-A012	助産師による情動的サポートと母子のボンディングの関係性の探索	助産学	修士課程 2年	横井 美由貴
16-A013	外国人患者のケアに携わる救急外来看護師の異文化間看護能力に関わる要因の分析	急性期看護学	修士課程 2年	浅川 翔子
16-A016	訪問看護師の心不全増悪ハイリスク療養者に対する疾病管理に関連した看護実践について	在宅看護学	修士課程 2年	小川 裕美
16-A017	産後尿閉のリスクファクターの探索	助産学	修士課程 2年	川添 いづみ
16-A019	乳幼児を育てる母親のための地域とのつながりを生む地域交流活動の機能とアウトカムの関連	公衆衛生看護学	博士後期課程3年	川崎 千恵
16-A020	病棟勤務経験のある新人訪問看護師の「訪問看護と職場への適応」と関連する要因および継続意欲との関連	公衆衛生看護学	博士後期課程3年	竹森 志穂
16-A024	高齢者本人と家族の意向を尊重した療養場所選択のための意思決定支援ガイドの開発	看護情報学	博士後期課程2年	青木 頼子

16-A007	開心術前患者の手術や術後リスクに対する認識	急性期看護学	准教授	宇都宮 明美
16-A009	基礎看護学実習における学生の日常生活行動援助実践に向けた教育的支援の構造化	看護教育学	修士課程2年	松本 紗織
16-A014	Transitional Care Needs of Stroke Patients and Family Caregivers at Home After Discharge in an Urban Area in Indonesia: A preliminary study	在宅看護学	博士後期課程2年	Nia Damianti
16-A018	タンザニア農村部における思春期妊婦への教育プログラムの開発: 予備研究	助産学	博士後期課程2年	Beatrice Mwilike
16-A021	ICU の開心術を受ける患者におけるせん妄と脳酸素飽和度および脳血流量の関係性	急性期看護学	修士課程2年	佐藤 かおり
16-A022	幼児の皮膚バリア機能を入院中の心理・生理的アセスメント指標に応用するための先駆的研究	小児看護学	准教授	小野 智美
16-A023	造血細胞移植後に慢性GVHDを発症した患者家族支援 家族を対象としたインタビュー調査	在宅看護学	助教	細田 志衣

4. 報告事項:既承認研究の軽微な変更、実施状況報告

既に承認されている研究の審査について、下記の通り報告された。

審議事項	整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
変更申請	15-A061	看護基礎教育においてラーニング・アシスタントを行った学生の体験	がん看護学・緩和ケア	助教	池口 佳子
変更申請	15-A070	行政におけるプリセプター保健師の経験学習と先行要因・専門職としての成長との関連	公衆衛生看護学	博士後期課程3年	嶋津 多恵子
中断報告	15-039	アレルギー専門患者指導のための指導者育成システムの開発及び基盤整備 ～小児アレルギーエドゥケーターの活動実態調査～	がん看護学・緩和ケア		

5. その他審議・連絡

- ① 委員長より、今月の審議・報告課題に関し利益相反の申告がない旨、委員へ確認があった。申告のある委員はいなかった。
- ② 国立研究開発法人日本医療研究開発機構から当法人に「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に係る適合性調査への協力について」の依頼があった旨の報告があった。

6. 次回委員会開催連絡

今回の研究倫理審査委員会日時:2016年8月9日 18:00～ (1階 大会議室)にて開催。